

講演 4 「発達障害のある学生の受け入れについて」

堂平 良一（佐世保工業高等専門学校 一般科目数学・准教授）

＜講演概要＞ 本講演では、担任として発達障害のある学生 A 君と係わった私の体験談と現在行われている A 君に対する支援とその効果について報告する。

A 君は少し変わっているが理工系の学校ではよくいるタイプの学生である。ただ、実験レポートなどの文を書くことが非常に苦手であった。そのため、レポートの提出が滞ってしまうこと、またそのことを周りから注意されることで自尊心が傷つけられ、ストレスが増幅し、その結果、パニックを起こすようになった。原因の1つがレポートにあったので、適切な学生に彼の学習支援を依頼し、レポートが書きやすい環境を整えるなどの対応を取った。結果として1度留年はすることとはなったが、以前のようなパニックを起こすことは少なくなった。

発達障害のある学生を理解できれば対応策は案外簡単なのかもしれない。しかし、本人の意思を尊重しつつ、保護者や教員、クラスメイトを含めた周りの共通理解を得ることが難関の1つであるように思う。

参考文献等

- 1) 松尾秀樹, “高等専門学校における取組の実際（支援体制の現在と今後）,” 高等教育機関における発達障害の学生支援ケースブック, 特殊研報告書 B-210, 国立特殊教育総合研究所, 2007.
- 2) 「高等専門学校での特別支援教育推進事業」（佐世保工業高等専門学校）, 文部科学省平成 19 年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」.

